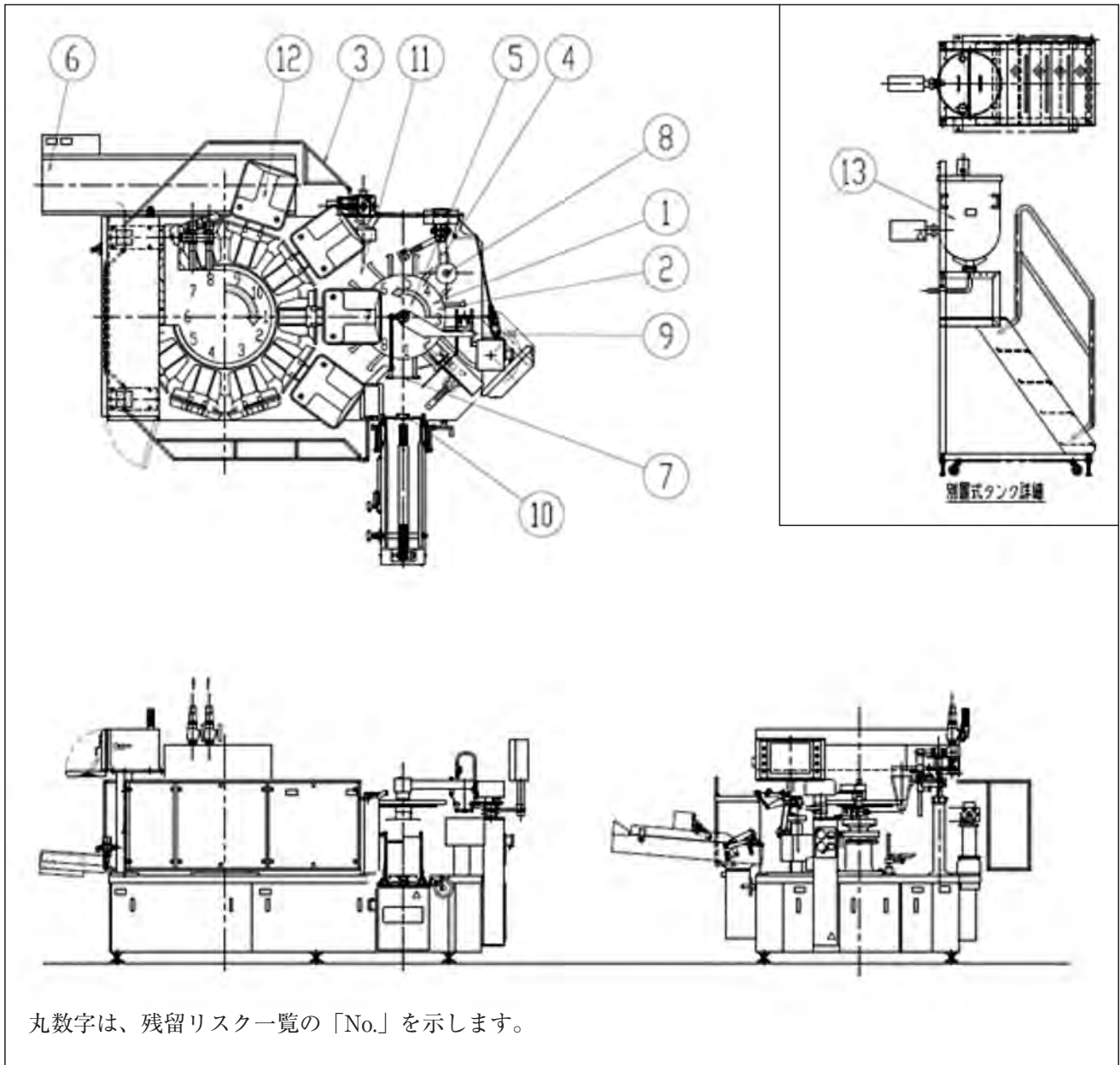


残留リスクマップ



残留リスクマップは、機械の危険源が一覧できることが重要です。

写真や俯瞰図などは、一方向の表現に優れていますが、どうしても隠れた部分が生じてしまいます。その隠れた部分にも危険源などがある場合は、機械ユーザーにとって危険箇所の特定が難しいことになります。

危険源が、機械の特定の方向にまとまっておらず、様々な方向に残留リスクとして存在する場合は、三面図を使って、危険箇所を示すのもひとつの方法です。